木曽林務課だより　9月

令和８年度木曽郡植樹祭が開催されました。

令和８年９月20日（日）に約200名が参加して木曽町三岳の御岳ロープウェイ近くの牧草地跡にカラマツや広葉樹2,350本を植栽する木曽郡植樹祭が開かれました。



植樹に汗を流す参加者



建立した記念標柱

森林の豊かな環境を育む力を持続的に発揮するため、木曽郡の緑化推進の大きな柱のひとつとなっているのが郡の植樹祭です。

今回の木曽郡植樹祭は、歌舞伎俳優の市川團十郎さんが呼びかける森林再生のための植樹活動「ABMORI（エビモリ）」と併催で行われました。



カラマツの植樹作業の様子



植栽したカラマツ



広葉樹の植樹作業の様子

この日は、三岳の太陽の丘公園で　「ABMORI in きそまち」としての開会式が開催され、市川團十郎さんや長女ぼたんさん、長男新之助さんとともに阿部長野県知事、加藤木曽町長等も参加して、森林再生の思いなどを語るトークショーが行われました。終了後には植樹会場に車で移動し、キハダやホウノキなどの広葉樹1400本、カラマツ950本を参加者に一生懸命に植えていただきました。

台風が日本列島の近くを通過する状況でしたが、木曽地域は、暑くも寒くもなく、穏やかな曇り空で植樹日和となり、植樹作業を行う参加者の思いをお天気もくみ取ってくれたのではないかと思わせる一日となりました。

©長野県木曽地域振興局林務課　令和8年9月30日